

滋賀県 アルコール関連問題啓発フォーラム 開催

滋賀県アルコール関連問題啓発フォーラムがアルコール関連問題啓発週間の11月11日(土)13:30~16:00の時間帯にて滋賀県男女共同参画センター大ホールで開催された。雨模様の予報で参加者の足も心配されたが、108名の参加を得た。最初に開会挨拶を主催者挨拶として厚生労働省社会援護局障害保健福祉部企画課 森 信二アルコール健康障害対策推進室推進官、続いて滋賀県健康医療福祉部 丸山 英明障害福祉課長が行った。

つづいて基調講演は「人生あきらめたらあかん!~足りないものに不平不満を言わず、有るものに感謝~」のタイトルで、ゴスペルシンガー市岡裕子さんがアルコール依存症であった吉本新喜劇座長で人気を博した故・岡八朗さんの長女として、父のアルコール依存症に悩み、その中での家族の葛藤、母の自殺、そして弟の死の絶望から再起して行く姿を、涙もあり、笑いもありを熱い口調で講演され、最後のオリジナル曲に励まされました。余韻が残る講演でした。休憩の後のシンポジウムは、滋賀県立精神保健福祉センター辻本哲士所長の司会で始まり、最初に滋賀県立精神医療センター救急科部長の濱川浩医師が「アルコールとの正しい付き合い方」と題してスライドを使い「多量飲酒を続ければアルコール依存症になる危険性とアルコール依存症の現状と治療の現状について」を分かり易く話された。続いて滋賀県健康医療福祉部障害福祉課の丸山英明課長が「滋賀県アルコール健康障害対策推進計画」を目的、概要と進捗について話された。滋賀県断酒同友会の西浦会長が滋賀県断酒同友会の紹介を、滋賀県断酒同友会の松岡清さんが本人として、中川恵美さんが家族としての体験談を熱く話されました。今回の啓発フォーラムでアルコール関連問題について、講演や様々な立場からの発表で、まずアルコール依存症のこと、相談、治療について知ることができ、講演の市岡裕子さんからの「人生あきらめたらあかん」のメッセージとともに、よい啓発になったと感謝します。(記・西浦)

